

平成 30 年度 事業計画書

<基本方針>

1. 博物館展示の質向上
2. 講習会、イベント、セミナー等の充実
3. 賛助会員、友の会会員の新規募集（拡充・継続）
4. 人材育成事業（奨学・育英及び研究助成）
5. 新博物館構想案の作成

公 1 木材や合板等に関する資料等の収集及び展示・公開

- (ア) 常設展示の見直し
 - ・木質材料コーナー、木造住宅コーナー等の配置・展示内容の見直し
 - ・展示解説カードの作成（データの更新、英語対応）
 - ・映像資料の収集と活用を促進（DVD,PPT 等による展示）
- (イ) 書籍、雑誌等の収集分類
- (ウ) 博物館展示品等の収集
 - ・歴史的な家具、現代家具の収集・公開

公 2 木材や合板等の有効利用及び需要拡大等に資する情報の普及活動、及び自然環境教育事

- (ア) 団体見学の受入れ
 - ・江東区内小学校の社会科見学
 - ・大学研究室、賛助会員企業等
- (イ) セミナー、シンポジウムの開催
 - ・行政等の動向セミナー
 - ・企業紹介セミナー
- (ウ) 博物館の広報・PR 活動
 - ・ポスター、パンフレットの更新
 - ・HP による情報の発信
 - ・展示会等への出展
- (エ) 季刊誌「PLY（ぶらい）」の編集発行（年 4 回）
- (オ) 『第 10 回「木と合板」写真コンテスト』実施
- (カ) 「合板の日」記念式典（11 月開催予定）
 - ・日本合板工業組合連合会、日本合板商業組合との共同開催
 - ・「一枚の合板コンペ」展示、紹介等
- (キ) 「森のめぐみ感謝祭」
 - ・都下 多摩産材見学等
- (ク) 子供向け木工教室
 - ・土日、夏休み開催の工作体験
 - ・夏休み合板・LVL 工場見学（キーテック）

公3 奨学・育英及び助成事業（給付型）

（ア） 奨学・育英事業（予算：500,000円）

- ① 対象： 江東区内の高校生で、在学中に経済環境が悪化した者
- ② 選考方法： 学校長の推薦を受け選考委員会にて選定し、理事会にて最終決定
- ③ 募集人数： 4人
- ④ 給付額： 月額 10,000円／人

（イ） 研究発表助成事業（予算：1,500,000円）

- ① 対象： 35歳以下の大学院に在籍する学生。また、申請者は日本木材学会、日本木材加工技術協会、日本木材保存協会、木質構造研究会など木材関連の学協会の学生会員または正会員であること。
- ② 選考方法： 応募者の中から選考委員会にて選定し、理事会にて最終決定
- ③ 募集人数： 3人
- ④ 給付額： 500,000円／人

収1 収益事業

（ア） ウッドマスター講習会

① 基礎講座

期 間：平成30年4月10日（火）～14日（土）

② 中級講座

・ 木材関連中級講座

専門的内容に特化した講座開催（樹種識別）

・ 合板関連中級講座

JK中堅社員及び外部を対象とした合板プロへ向けたレベルアップ研修

（イ） 木造住宅関連講習会

対象：設計者、工務店（構造・省エネ・耐久性）

収2 物品販売

（ア） ミュージアムショップの商品拡充

（イ） 自販機による飲料販売